

CROS 補聴システム  
フォナック クロス I-R  
Phonak CROS I-R

## 取扱説明書



### はじめに

このたびはフォナック社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

フォナック クロス I-R はフォナック インフィニオ シリーズ補聴器と一緒に使用する CROS 送信機です。

本書はフォナック クロス I-R について記載しています。本書および別紙「安全上のご注意」と、組み合わせて使用する補聴器の取扱説明書も必ずお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

取扱説明書で不明な点がございましたら、本書に記載されております「お客様相談窓口」までお問合せください。

### 1. 対応補聴器

#### フォナック インフィニオ シリーズ補聴器

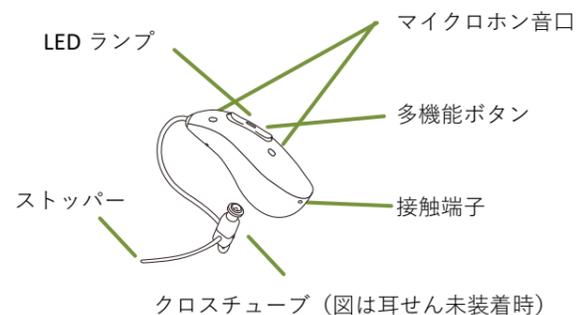
クロス	補聴器
フォナック クロス I-R	フォナック オーデオ I-R

### 2. 本体付属品

- フォナック クロス I-R 本体
- ハードケース
- 取扱説明書（本書）
- 保証書
- 左右識別ピン
- クロスチューブ（耳せん含む）

### 3. 各部の名称

#### フォナック クロス I-R+ クロスチューブ



#### 耳せん

ドーム型耳せん



クロスチップ  
（オプション）



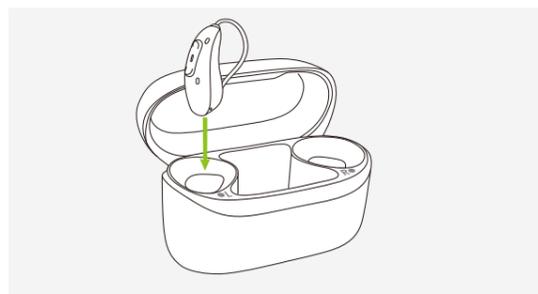
### 4. 充電の方法・電源の入れ方

#### フォナック クロス I-R

クロス I-R には、リチウムイオン電池が内蔵されています。ご使用前に別売りの専用の充電器、フォナック チャージャー Go RIC I、フォナック チャージャー RIC I を使って充電してください。クロス I-R を充電器からとり出すと、自動的に電源がオンになります。この機能が設定されていない場合は、多機能ボタンの下部を LED ランプが緑色になるまで約 3 秒間押します。電源をオフにする場合は LED ランプが赤色に点灯するまで、ボタンの下部を約 3 秒間押し続けます。

充電は充電器の差し込み口に、クロス I-R 本体を入れます。充電中は、本体の LED ランプが点滅し充電状態を示します。充電が完了すると緑色の点灯に変わります。

#### フォナック チャージャー RIC I



#### LED ランプの表示

状態表示	充電状態	充電時間
赤（点滅）	0～10%	
オレンジ（点滅）	11～80%	約 30 分間（20%） 約 60 分間（40%） 約 120 分間（70%）
緑（点滅）	81～99%	
緑（点灯）	100%	約 3 時間

### 5. フォナック クロス I-R の使用可能時間

フォナック クロス I-R	約 16 時間
---------------	---------

#### フォナック クロス I-R の電池寿命お知らせ音

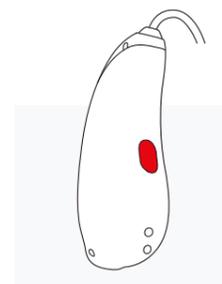
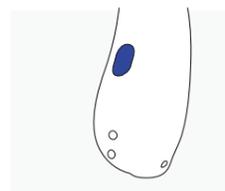
電池寿命が残り僅かになると、補聴器から電池寿命お知らせ音（2 ビープ）が聞こえます。

### 6. フォナック クロス I-R の装用方法

フォナック クロス I-R には左耳用／右耳用があります。

装用の前にご確認ください。

青：左耳用 赤：右耳用



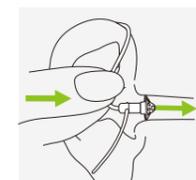
#### フォナック クロス I-R の装用方法

クロスチューブ + ドーム型耳せん、クロスチップの場合

- 耳の上部にフォナック クロス I-R を乗せます。



- クロスチューブをつまんで図のように持ちます。外耳道に耳せんまたはクロスチップをゆっくり押し込みます。



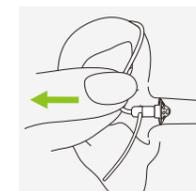
- ストッパーがある場合は図のように耳のくぼみに沿うようにはめまします。最後に、図のように収まっているか指でなぞってご確認ください。



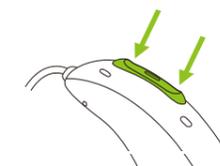
- ストッパーが長い場合は、少し切り取ることも可能です。その際、固定できないほど短くしないように十分気をつけてください。
- 耳せんは、チューブから外れないように作られています。万が一耳せんが中に入ってしまった場合には、ただちに医療機関にご相談ください。

#### フォナック クロス I-R の取り外し方法

クロスチューブをつまんでゆっくり耳から外してください。クロスチップの場合は取り出しテグスをつまんでゆっくり取り出してください。



### 7. 多機能ボタンについて



プログラム切り替えなど、多機能ボタンの機能については基本的に一緒に使用する補聴器に依存します。CROS 補聴システム使用時のボリュームコントロールについては以下をご参照ください。

#### CROS マイクロホン使用時

操作する多機能ボタン	補聴器側	クロス I-R 側
機能	ボリューム	CROS バランス

#### CROS マイクロホン不使用（補聴器のマイクロホンのみ）

操作する多機能ボタン	補聴器側	クロス I-R 側
機能	ボリューム	ボリューム

#### 音声ストリーミング時

（ロジャー・Bluetooth・テレビコネクターなど）

操作する多機能ボタン	補聴器側	クロス I-R 側
機能	環境音バランス	環境音バランス

下部を長押しすると、電源の入／切が可能です。

多機能ボタンに設定されている機能については、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

### 8. タップコントロール

一緒に使用する補聴器のクラスが I90 および I70 の場合、クロス I-R でもタップコントロールが利用可能です。

タップコントロールについては、補聴器の取扱説明書をご参照ください。

### 9. Bluetooth 対応デバイスとのペアリング

デバイス（携帯電話など）で、Bluetooth が有効になっていることを確認し、接続設定メニューで Bluetooth 対応デバイスを検索しペアリングします。初回のペアリング後、CROS システム（補聴器とクロス I-R）は自動的にデバイスに接続されます。最初のペアリングには最大 2 分かかります。



1. デバイス（携帯電話など）で、Bluetooth 機能が有効になっていることを確認し、接続設定メニューで Bluetooth 対応デバイスを検索します。

2. 補聴器とクロス I-R の両方の電源を入れます。3 分以内に CROS システムとデバイスをペアリングさせてください。

3. お使いのデバイスには、Bluetooth 対応デバイスのリストが表示されます。リストから補聴器を選択して、CROS システムをデバイスとペアリングします。ペアリングが成功すると補聴器からビープ音が鳴ります。

## 10. 携帯電話で通話する

CROS システムは、Bluetooth 対応の電話に直接接続します。 ペアリングして電話に接続すると、補聴器で発信者の声が直接聞こえます。自分の声は補聴器のマイクで拾われ、電話に送られます。

1. 電話をかける  
電話番号を入力し、ダイヤルボタンを押します。  
補聴器からダイヤルトーンが聞こえます。自分の声は補聴器のマイクで拾われ、電話に送られます。

2. 電話を受ける  
電話を受けると、補聴器で電話通知が聞こえます。  
補聴器またはクロス I-R の多機能ボタンの上部または下部を短く押す（2 秒未満）または耳の上部を 2 回タップする（クラス I90 および I70 でのみ使用可能）ことで、通話に応答できます。

3. 通話の終了  
通話を終了するには、補聴器またはクロス I-R の多機能ボタンの上部を長押しする（2 秒以上）または耳の上部を 2 回タップします（クラス I90 および I70 でのみ使用可能）。

4. 通話の拒否  
着信は、補聴器またはクロス I-R の多機能ボタンの上部または下部を長押しするか（2 秒以上）、または電話で直接拒否することができます。

## 11. 機内モード

CROS システムは、2.4 GHz～2.48GHz の周波数範囲で動作します。飛行中は機内モードに切り替える必要があります。補聴器側は機内モードに切り替えます。クロス I-R は電源をオフにすることで機内モードとして信号が送信されなくなります。クロス I-R の電源がオンになっている場合は、LED ランプが 2 秒間ほど赤く点灯するまで多機能ボタンの下部を約 3 秒間押し続けて電源をオフにします。機内モードを終了するには補聴器側の機内モードを解除し、クロス I-R の電源を再度オンにします。

## 12. ロジャーおよび Bluetooth 対応デバイス

CROS システムはロジャーおよび Bluetooth 対応デバイスと接続することができます。ただし、これらの機器と CROS システムは同時に使用することはできません。これらの機器の使用中はクロス I-R からの音声は聞こえません。補聴器からのみの音声は聞こえます。

## 13. 再起動する

クロス I-R がエラー状態の場合は、以下の方法で再起動してください。 これにより、プログラムや設定が削除または削除されることはありません。  
多機能ボタンの下部を 15 秒以上押します。ボタンを押し始める前に、電源をオンにするかオフにするかは関係ありません。またこの動作時に LED ランプまたは音の通知はありません。LED ランプが緑色に点滅し始めたら再起動完了です。

## 14. トラブルシューティング

### 音が小さい・出ない

- クロス I-R か補聴器の電源がオフになっている
  - ✓ 多機能ボタンの下部を約 3 秒間押ししてください
- 音量が小さい
  - ✓ ボリュームを調節してください
- 充電が切れている
  - ✓ クロス I-R ならびに補聴器を充電してください
- 耳から浮いているもしくは外れている
  - ✓ 正しく装用されているか確認してください
- 補聴器の音の出口に耳あかやゴミがたまっている
  - ✓ 耳せんやチューブを掃除してください
  - ✓ 補聴器の耳垢防止フィルターを交換してください

### 電源がオンにならない

- 充電が切れている
  - ✓ クロス I-R ならびに補聴器を充電してください
- 多機能ボタンが 15 秒押されたことにより機能が停止している
  - ✓ 「13. 再起動する」の手順を参照ください

### お知らせ音が鳴っている

- 電池残量が残りわずか
  - ✓ 充電してください
- 補聴器とクロス I-R の通信が途切れた
  - ✓ 正しく耳に装用してください
  - ✓ 充電の残量があるか確認してください

### 充電が始まらない

- 充電器が電源に接続されていない
  - ✓ コンセントおよび USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください
- 充電器に正しく差し込まれていない
  - ✓ クロス I-R と充電器の充電端子が汚れていないか確認して充電器に正しく差し込んでください

### 充電がすぐに切れる

- 充電電池の品質が低下している
  - ✓ 内臓のリチウムイオン電池が消耗しているかもしれません。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

### ハウリングが起こる

- 耳せんが正しく挿入されていない
  - ✓ 補聴器がしっかりと耳に装着されているか確認してください。

上記のとおり行っても症状が改善しない場合や、その他の症状が発生した場合は、お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

製造販売業  
ソノヴァ・ジャパン株式会社  
〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8  
天王洲パークサイドビル  
TEL 0120-06-4079（お客様相談窓口）

FAX 0120-23-4080

www.phonak.com/jp/ja



販売店名

CROS 補聴システム  
フォナック クロス I-R  
Phonak CROS I-R

## 安全上のご注意



### はじめに

この「安全上のご注意」と取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

取扱説明書で不明な点がありましたら、本書に記載されております「お客様相談窓口」までお問合せください。

### 安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

- お守りいただく内容を次のように表示し、説明しています。

<b>⊘ 禁止</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
-------------	--

- 表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

<b>⚠ 警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
<b>⚠ 注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「損傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

<b>⊘ 禁止</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>下記の項目に該当する場合は、本製品および補聴器を使用せず、耳鼻咽喉科医師（補聴器相談医）の診察を受けてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 耳の治療中の方、外耳道に痛みまたはかゆみがある場合</li> <li>✓ 最近 3 か月以内に耳漏があった場合</li> <li>✓ 最近 2 か月以内に聴力が低下した場合</li> <li>✓ 最近 1 か月以内に急に耳鳴りが大きくなった場合</li> <li>✓ 耳あかが多くたまっている場合</li> <li>✓ 耳の手術を受けたことがある場合</li> <li>✓ 聴力測定の結果、平均聴力の左右差が 25 dB 以上ある場合</li> <li>✓ 聴力測定の結果、500、1,000、2,000 Hz の聴力に 20 dB 以上の気骨導差がある場合</li> </ul> </li> <li>音量を大きくしすぎないでください。</li> <li>騒がしいところでは音量を小さめにするか、長時間使用しないようにしてください。</li> <li>強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにしてください。</li> <li>分解、改造をしないでください。レントゲン撮影、CT スキャンなどの画像診断機器は本製品および補聴器に悪影響を及ぼします。これらの機器を用いた撮影を受ける前には耳から外し、撮影室の外に置くことをお勧めします。また MRI スキャンは強い磁力を用いますので、MRI 室に入る前には必ずお外してください。</li> <li>過度の湿気や高温な場所は避けてください。特に夏場は、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。</li> <li>内部に水が入ると故障する恐れがありますので、水にぬらさないでください。また、強い水流を当てたり、水中に沈めたりしないでください。（例：お風呂に入るとき）</li> <li>電池は火中に投げ入れないでください。</li> </ul>

<b>⚠ 警告</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ペットのそばや子どもの手の届くところに保管しないでください。万が一、誤って電池を飲み込んでしまった場合は、ただちに医師にご相談ください。電池の誤飲によって化学やけどを引き起こす可能性があります。</li> <li>使用中および保管時に異臭、発熱、変色、変形など今までと異なる症状がある際には、直ちに使用を中止してください。</li> <li>航空機内など電子機器の使用を禁止された区域で使用する場合は、各区域の指示に従ってください。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>電子機器や医療用電気機器に影響を与える場合があります。病院など電波を発する機器の使用に制限がある場所では各機関の指示に従ってください。</li> <li>ペースメーカーなど医療機器の装用者が本製品を使用する際は医療機器製造会社や医師の指示に従ってください。</li> </ul>
--

<b>⚠ 注意</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>電子レンジや IH 調理器などの電磁波を発する機器の近くでは、雑音が発生することがありますが故障ではありません。機器から離れるか、もしくは補聴器を耳から外してください。</li> <li>フォナック クロス I-R はあらかじめ調整されたフォナック インフィニオ シリーズ補聴器と共にご使用ください。</li> <li>過度の湿気や温度を避けてください。特に夏の時期、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。</li> <li>指向性マイクロホンにより後方からの音が聞こえにくくなる場合がありますのでご注意ください。</li> <li>弊社によって動作確認されたアクセサリーのみを使用してください。</li> <li>誤って耳から外れてしまった場合など、フォナック クロス I-R との接続が切断された場合はそのことが補聴器からメロディで提示されますのでご確認ください。</li> <li>内部に水が入ると故障する恐れがありますので、強い水流を当てたり、水中に沈めたりしないでください。</li> </ul>

### その他の注意点

- 本製品の修理はソノヴァ・ジャパンまたはソノヴァ・ジャパンの指定するサービスセンターでのみ可能です。
- フォナック クロス I-R を使用する際、補聴器は通常よりも多くの電流を必要とします。そのため、補聴器の電池寿命がカタログなどに記載されている時間より短くなりますが、補聴器の故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- フォナック クロス I-R を長期間保管する場合は、定期的に充電してください。

### 防塵・防水機能に関する情報と注意

フォナック クロス I-R は下記の防塵・防水機能が備わっています。この機能を維持するため、本項目の注意点をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

機種名	保護等級
フォナック クロス I-R	IP68

### 一般的な注意点

- ヘアスプレーやその他の化粧品を使用する場合、補聴器のききとりに影響が発生する可能性がありますので、耳から取り外した後にヘアスプレー等をご使用ください。

### 使用上における注意

- 汗や埃が多くついてしまった場合、乾いた布等できれいに拭き取ってください。
- 日頃のケアや定期的な点検に関しては、以下をご参照ください。
  - ✓ 完全な浸水やシャワー、またスキューバダイビング、潜水、水上スキーやその他の水上でのアクティビティをされる前にはフォナック クロス I-R を取り外してください。
  - ✓ 塩素水、石鹼、塩水や化学物質を含む液体に暴露しないでください。

### 保証期間とアフターサービス

#### 日本国内における保証期間

日本国内における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。無償修理の際、保証書が必要になりますが、製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。

#### 日本国外における保証期間（国際保証）

日本以外の国における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。

当規定は上記の修理保証規定により交換・修理をお約束するものであり、法律上のお客様の権益を制限するものではありません。

#### 保証適用除外

保証対象は本体のみであり、アクセサリーパーツ、耳せんなどは含まれません。

お客様または第三者の誤った使用・過失・改造による故障および損傷に対しての修理に関しては、保証期間内であっても保証適用外となります。修理は、ソノヴァ・ジャパン

またはソノヴァ・ジャパンの指定するサービスセンターでのみ行ってください。

また、補聴器の専門家による補聴器およびアクセサリーの調整やアフターケア等のサービスに対しても、保証対象ではありません。

### その他

- 無償保証期間が過ぎて不具合がある場合、有償修理となります。
- 保証期間内であっても、お客様による誤った使用、過失、改造による故障の場合、有償修理となる場合があります。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## Service Policy and Warranty

### Local Warranty

Please ask the hearing care professional, where you purchased your CROS device, about the terms of the local warranty.

### International Warranty

Sonova AG offers a one year limited international warranty, valid starting from the date of purchase. This limited warranty covers manufacturing and material defects in the CROS device itself, but not accessories such as batteries, tubes, earpieces, external receivers. The warranty only comes into force if a proof of purchase is shown.

The international warranty does not affect any legal rights that you might have under applicable national legislation governing sale of consumer goods.

### Warranty Limitation

This warranty does not cover damage from improper handling or care, exposure to chemicals or undue stress. Damage caused by third parties or non-authorized service centers renders the warranty null and void. This warranty does not include any services performed by a hearing care professional in their office.

## 仕様・性能

### ■ 環境条件

製品は、本製品およびアクセサリーの取扱説明書にしたがって使用された場合に、問題や制限なく機能するように設計されています。使用、充電、輸送、保管は以下の条件下で行ってください。

		使用	充電	輸送	保管
温度(°C)	最大	5~40		-20~60	
湿度(%)	最大	0~90(結露しないこと)		0~93	
気圧(hPa)		500~1060			

### ■ 電波情報

アンテナタイプ	ループアンテナ（共振式）
周波数	2.4-2.48 GHz
変調方式	GFSK、GMSK
出力	2.5 mW 未満
Bluetooth®	
通信可能範囲	約 2 m
バージョン	5.3 LE
プロファイル	HFP (Hands-free profile), A2DP

Bluetooth®およびそのロゴは Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。

### ■ 電波法認証情報

フォナック クロス I-R		 005-103472
---------------	---	--

## シンボルマークの説明

 XXXX  
この記号は、アクセサリー類を含む製品が医療機器規則(EU)2017/745 および RE 指令 2014/53/EU の通信と通信機器・送信機の基準を満たしていることを示しています。CE 記号に続く番号は指導した認証機関のコードを表します。

  
この記号は、取扱説明書に載っている製品説明がEN60601-1のタイプBに則っていることを表します。

  
この記号は、医療機器規制（EU）2017/745で定義されている、医療機器メーカーであることを示します。

  
この記号は、使用者が取扱説明書に書いてある内容を読み理解してもらうことが大事であることを示しています。

 この記号は、製造日を示しています。

 この記号はこの記号は、製品の製造番号（シリアルナンバー）を示しています。

 この記号は、この製品を特定できるメーカーのカタログ番号を示します。

## 使用/輸送/保管時の環境条件(温度/湿度)

 この記号は、製品の輸送、保管時の温度制限（上限値と下限値）を示しています。

 この記号は、製品の輸送、保管時に水濡れ厳禁であることを示しています。

 この記号は、製品の輸送、保管時の湿度制限（上限値と下限値）を示しています。

 この記号は、製品の輸送、保管時の気圧制限（上限値と下限値）を示しています。

## Memo

販売店名